

(4) 様式 4_助成事業実施報告書

2018 年 3 月 27 日

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人教育研究所

代表者・役職名 氏名 理事長 牟田武生

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

「自立援助ホームうなづき」水道用ポンプ改修事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

1972年に不登校の支援塾として、横浜市で開塾。不登校の学習支援、心理支援を行ってきました。2015年度にNPOとして幅広い活動をはじめ、富山県黒部市において共同生活型の若者の自立支援、並びに社会的養護の必要な子どもたちの支援を始めました。2017年から富山県で最初の自立援助ホームうなづきの事業を開始しました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

当ホームは家屋ではなくビルである為、トイレや水道の水を上階へ上げるのにポンプを使用しています。しかし現在使用している2台のポンプの内、1台が老朽化が激しく故障してしまい、毎日子どもたちが使用するトイレや水道が使用出来なくなる可能性があり、新品ポンプの購入するための資金として、助成金申請を行いました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

現在使用しているポンプの老朽化(約20年間使用)による内部モーターの故障の為、2台あるポンプの1台が動かなくなりました。現在は1台で動かしていますが、これも故障してしまうとホーム内の水道が全て使用出来なくなってしまいます。故障した部品を交換するには旧式過ぎる為、既に製造しておらず新品への交換しか方法がなく、新品ポンプへ全体の交換を希望します。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

自立援助ホームうなづきに籍を置いている子どもたちは、NPO 法人教育研究所運営のビルにて生活し活動しています。今年で二年目を向かえ、一年目の冬は、凍結などによるポンプの故障により、断水による日常生活の不便さ、特にトイレ・風呂などが使用できなくなり、子どもたちの「水が使えない」不便さによる精神的なイライラが多く見られました。今年度の冬は、北陸地方は過去にない大雪、寒波にて、ポンプの故障、水道管の破裂などによる被害が多く発生しましたが、2017年度の真如苑様の助成による新しいポンプが購入でき、故障もなく子どもたちも不便なく厳しい冬をすごすことが出来ました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

NPO 法人の運営は経営的に非常に厳しく、行政からの助成金で運営を行っていますが、行政の助成範囲は思ったほど広くなく、生活に関する施設の修理、備品購入については、なかなか認めていただけないところがあります。今回のポンプ購入についても、子どもたちのために新しい設備にしたい希望が有りましたが、実現がやっと叶いました。行政では助成適用が難しい範囲での助成の幅が広がってほしいと思います。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり 特になし

Blog&Topics

冬を乗り越え

2018/03/11

温泉ポンプ大活躍

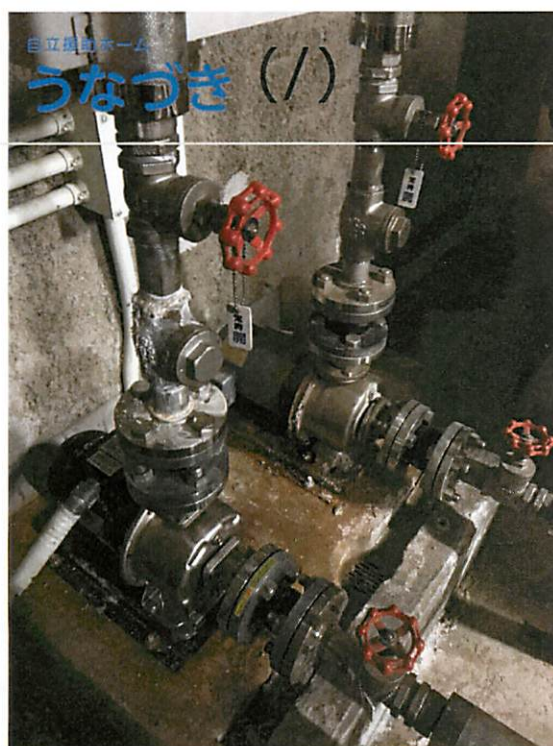
自立援助ホームのある宇奈月温泉も厳しい冬が和らぎ、やっと春の息吹が感じられる季節になりました。今年の冬は近年になく、寒波、大雪で、援助ホームの子どもたちも厳しい冬の毎日を過ごしました。

私たちの生活所では、立地場所が温泉観光地に立脚しており、風呂は温泉を利用しています。ただ援助ホームが入っている建物の老朽化により、温泉ポンプなどの設備が劣化して故障が多くて、困っておりました。温泉の循環がうまく出来ず、特に冬場はぬるま湯の状況でお湯につからざるを得ない状況でした。

しかし、今年の冬は、真如苑様の助成金により新しい温泉ポンプを設置することが出来、大変快適な状況で温泉を利用することが出来、援助ホームの子どもたちも快適な冬を過ごすことが出来ました。運営が厳しいNPOでは、設備投資をしたくても困難な状況でしたが、暖かいご支援をいただき、暖かいお風呂に入ることが出来ました。

本当にありがとうございました。

援助ホームスタッフ、子どもたち一同感謝しています。



☎
(tel:
076-
532-
5444)

(<http://www.jiritsuengo-unazuki.org/wp-content/uploads/2018/03/c8808a241a5183c25efd54f6cc362807-e1520755030562.png>)

真如苑様からの助成金により購入した温泉ポンプです

厳しい冬の中、子どもたちやホーム全体でも、インフルエンザ等もかからず、健康に過ごせて良かったなあと安心している暇もなく、春が近づくにつれて子どもたちも新しい節目を迎える準備をしながら、期待と不安を抱きながら毎日を過ごしております☺

< next (<http://www.jiritsuengo-unazuki.org/2018/04/13/100/>)

prev (<http://www.jiritsuengo-unazuki.org/2018/01/08/89/>) >

真如苑様助成より購入したポンプです

ポンプ写真 (左側のポンプが購入したポンプです)

